

持続可能な開発目標 (SDG)

概要報告の目的:

- EB-148 に対し、2015年 EB-147 以降の SDG/FFD に関わる活動を報告する。
- EB-148 に、SDG/FFD に関する 2016 年の行動案を報告する。

関連:

- ✓ PSI PoA 第 10 章: 持続可能な開発の達成で役割を果たす
- ✓ EB-147 に対する概要

背景: リオ+20 会議の成果の 1 つに、国連加盟国が一連の持続可能な開発目標 (SDG) 策定のプロセスに着手する合意を形成したことがあった。SDG はミレニアム開発目標を土台に、2030 開発アジェンダに取り組むものである。2030 年持続可能な開発アジェンダにも開発分野の資金調達と気候変動が盛り込まれている。SDG は 2015 年 9 月 25~27 日ニューヨークで開かれた国連総会の特別セッションの場で採択されたが、その指標については 2016 年も引き続き交渉を行う。

議論:

SDG: すでに報告された行動に加え、PSI は 2015 年 5 月と 6 月に政府間交渉に参加した。同年 3 月 18 日、4 月 23 日、5 月 20 日には国連で一連の公式サイドイベントも開催し、市民社会組織だけでなく、EU、G77 の交渉担当者、交渉共同議長の代表、国連機関などから広い参加があった。PSI はこのサイドイベントで、PPP の推進から基本的な公共サービスを除外することを訴えた。7 月の交渉では最終稿が作成され、2015 年 9 月 24 日の国連総会での採択に備えた。PSI は 2015 年 9 月に開かれた 2030 開発サミットで、一連のイベントに参加した。2015 年 11 月、ラテンアメリカ、カリブ、アフリカ地域の国連経済社会局 (UNDESA) が地域研修ワークショップを開催した。提案を受け、選ばれた PSI 加盟組合のメンバーがこれに参加した。

PSI と労働組合運動は、このプロセスにおいて、完全かつ生産的な雇用と、万人のためのディーセントワークと普遍的な社会的保護、水と衛生を享受する人権、万人へのヘルスケア確保、ジェンダー平等、所得不平等の是正といった大きな目標を掲げており、これらは全般的に宣言や SDG、目標の各所に反映されている。PSI は具体的に、社会的保護の目標 (1.3)、質の高い教育の確保 (SDG 4) とそれに対する個々の目標全般、ジェンダー平等の達成 (SDG 5) と、とくに公共サービスの提供、インフラおよび社会的保護政策 (5.4)、女性のリーダーシップ (5.5) を通じた無償ケアと家事労働の目標、万人のためのディーセントワーク (SDG 8) とそれに対する個々の目標全て、不平等の是正 (SDG 10)、とくに財政、賃金および社会的保護政策 (10.4) に焦点を当てた目標の強調、法と法の支配の確保 (SDF 16)、とくに基本的自由を守る目標 (16.10) を歓迎した。PSI は同時に、SDG を支える枠組みについては依然として批判的な立場なので、SDG の実践と効果的な監視が必要になる。SDG、FFD3 の交渉を通じて、PSI はこのアジェンダが民営化と現状維持の媒体となって終わる可能性があるとの立場を示してきた。とくに公共財源が民間部門の支援に使われる分野において、民間部門の介入が公益にかなった形で行われるよう、無条件の基準が必要になる。

開発資金の確保: 2015 年 7 月 13~16 日にアディスアベバで開かれた第 3 回開発資金国際会議では、アディスアベバ行動アジェンダ (AAAA) が採択された。PSI は、2015 年 4 月に、市民社会と政府が行った、債務と財務構造に関する共同 SDG/FFD 対話に参加した。また、会議前 6 ヶ月の交渉期間を通じて、FFD3 の成果文書の作成に助言を行った。600 を越える世界の市民社会組織およびネットワークが、FFD3 を含む準備期間に関与した。開発資金に関する国連サミットを控え、PSI は民間による資金調達と、開発資金確保の文脈における民間部門の資金をめぐる議論から、水と衛生、ヘルス

ケア、教育を除外するための署名運動を共同で展開し、150 団体が署名した (<http://www.world-psi.org/en/post-2015-development-agenda-statement>)

ローザ・パヴァネリ書記長率いる PSI 代表団は、FFD3 で多くのサイドイベントと円卓会議に参加した。その 1 つが、FFD3 に先立つ 7 月 11、12 日に開かれた CSO フォーラム である。2 日間のフォーラムでは、国連システムの中に政府間租税機関を設置する訴えや、官民パートナーシップ (PPP) の無条件支援に関する深い懸念などを盛り込んだ 共同声明 作成された。PSI は ICRICT のサイドイベントに参加し、PPP に関して「ミッション・インポッシブル：公共サービス抜きの開発」と題したイベントを開催した。また、市民社会パートナーと共に PPP に関するサイドイベントと、世界税正義同盟のサイドイベントを開催した。

成果文書に対する PSI の反応：<http://www.world-psi.org/en/reaction-agreed-addis-ababa-action-agenda-financing-development-psi>.

FFD3におけるPSIの活動の詳細：<http://www.world-psi.org/en/financing-development-0>

予算面：2016 年度予算案どおり

次のステップ：PSI は他の労働組合と市民社会組織と共に行動を続け、国連システムで変革的なアジェンダを実現することができる人間中心で人権を基盤としたアプローチを呼びかける。UNDESA の持続可能な開発部門 (DSD) と UNDG、UNITAR、選抜された国連各国チームは、今後数か月にわたり、最大 9 か国 (ベリーズ、コロンビア、コスタリカ、エチオピア、ホンジュラス、ヨルダン、トーゴ、ウガンダ、ベトナム) で研修を行うことを発表した。研修は、「*開発途上国の能力を強化し、持続可能な開発を国家開発戦略の主流に*」と題したプロジェクトの一環として、2030 開発アジェンダへの移行を議論する。こうした活動はすでにヨルダンとトーゴでスタートしており、PSI 加盟組合が実践に招かれている。2016 年 4 月にはモロッコとベリーズでさらにワークショップが計画されている。

2016 年、PSI はこのレビュープロセスが真に参加型であることを国家レベルで確認し、国際的な労働基準や環境基準の順守を通じて企業に全レベルで責任を果たしてもらうツールが確実に盛り込まれるようにしなければならない。PSI は、ECOSOC の FfD フォーラム (4 月 18~20 日)、国連 PGA の SDG 達成に関するテーマ別ハイレベル討議 (4 月 21 日)、ECOSOC の持続可能な開発に関するハイレベル政治フォーラム (2016 年 7 月 11~15 日)、ECOSOC のハイレベル部門「ポスト 2015 開発アジェンダの実施：コミットメントから成果へ」 (2016 年 7 月 18~22 日) に参加する。PSI は 2016 年、各国政府を 2030 開発アジェンダに取り組みさせるためのツールキットを加盟組合用に作成する。

EB-148 に対し以下を勧告する。：

1. PSI の行動を支持する。
2. 予算案に賛成する。

はいいいえ
はいいいえ

関連文書:

- PSI page on 2030 Agenda: <http://www.world-psi.org/en/issue/post-2015-development-agenda>
- UN page on 2030 Agenda: <https://sustainabledevelopment.un.org/post2015/transformingourworld>
- Read the outcome document of FfD3: http://www.un.org/ga/search/view_doc.asp?symbol=A/CONF.227/L.1
- Trade union reaction to the Addis Ababa Action Agenda (AAAA) on Financing for Development: http://www.ituc-csi.org/IMG/pdf/trade_unions_reaction_to_ffd3_action_agenda_final.pdf
- CSO response to the Addis Ababa Action Agenda (AAAA) on Financing for Development: <https://csoforffd.files.wordpress.com/2015/07/cso-response-to-ffd-addis-ababa-action-agenda-16-july-2015.pdf>

- Stop the Bleeding, Campaign to End Illicit Financial Flows from Africa – please [sign the petition](#)
- Lima Declaration on Tax Justice and Human Rights – organizations - [please sign on](#)